



# 大分県立津久見高等学校

〒879-2421 大分県津久見市大字津久見3485番地1 TEL. 0972-82-4126 (代表)

## 目的・ねらい

- ・オープンソースの概念とWINDOWSと違ったOSを利用することで、生徒の興味や関心を持たせる。
- ・コンピュータ教室の環境固定を考慮し、CDブートで常に同じ環境で学習でき、自宅での学習に利用する。
- ・情報教育の一環として、全国工業高等学校長協会主催のパソコン利用技術検定に利用できるかどうか、ワープロ、表計算の検証を行う。



## 活用アプリケーション

- ・ワープロ (Writer) ・Calc (表計算) ・Impress (プレゼンテーション) ・10進BASIC ・Mozilla/Firefox (ブラウザ)

## 授業実施計画

電気科にて授業実施

対象授業科目	対象生徒	利用アプリケーション
工業基礎	1年	10進BASIC・ブラウザ
情報技術基礎	2年	ワープロ(Writer)・ブラウザ
プログラミング技術	3年	表計算(Calc)・ブラウザ
課題研究	3年	プレゼンテーション(Impress) ブラウザ・LEGOマインドストーム

## ワープロ実習風景



## 成果

- ・ワープロ及び表計算ソフトについては、全国工業高等学校長協会主催のパソコン利用技術検定（3級・2級）では利用できないのではないかと感じる。また、Calcのマクロについては、Excelのマクロとは互換性がほとんどないことが確認できた。
- ・10進BASICについては、特に利用しても問題なく実習することができた。
- ・課題研究では、LEGOマインドストームをKNOPPIXにて開発実験を行うことができた。
- ・生徒自身が、OSとOSSについて興味・関心を持つことができた。

## 感想

OSSの存在とWINDOWS以外のOSの存在を多くの生徒に広めていく必要があるのではないかと感じる。特に、OSの働きとハードウェアの関係、通信の仕組みとネットワーク、そして、その環境を理解し開発できる人材を育成していく上で、非常に興味深い題材であり、教育環境の実現と教員のスキルアップを行っていく必要があるのではないかと感じる。

## 将来展望

情報教育の位置づけとして、WINDOWS とLINUXのデュアルブートの実現、そして、OSSの利用を推進していくことでコンピュータと情報教育に関する進展が大きく期待できるように感じる。そのためにも、これからもKNOPPIXを利用した授業をとりいれ、少しでも開発技術者を育成する手助けをしていく必要が学校側にあると感じる。

